## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 1 月 15 日

事業所名 Love&Smileりやん

	<u> </u>	<u> </u>			事業所名 Love&Smileりやん		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境·体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	2		建物をもう一棟借りた為、今後も有効活用できるよう検討していきます	
	2	職員の配置数は適切である	4	3		人員基準は満たしているが、数名ほど増やしたいと考 えております	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		7		現在バリアフリーにはなっていませんが、テーブルの 角にクッション材を設置する等のけが防止の配慮を 行っています	
業 務	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			日々職員間での話し合いを行い業務改善に努めています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			年1回アンケートを行い結果をまとめて職員に周知し 業務改善に繋げています	
改善善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7			結果をまとめて職員に周知し毎年ホームページで公開 しております	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	3		現在、第三者による評価は行っていません	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	7			人材不足で現地での研修は中々参加できないが、事業所内やオンラインでの研修を行っている	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成している	7			少なくとも半年に1回の面談を行い、計画を作成 しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7			導入はしているが今後もうまく活用できるようにしていきたいと検討しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7			チームでの話し合いの中で前日の療育内容や出来事 をそれぞれの職員から出し合い作成しています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			その時々の子どもの実態に応じで、計画とすり合わせ 活動・遊びの提供を心がけています	
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7			長期休暇ならではの活動内容を取り入れています。今 後も療育の質が上がっていくよう努めていきます	
な支援の	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービ ス計画を作成している	7			低・高学年と分けたり全体での活動の計画も作成しています	
提	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	7			毎日朝会や打ち合わせを実施し一日の流れ、担当す る職員を決め、療育内容の共有を行っています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5	2	当日にできない時 に は翌日共有す るよう にしている。	緊急の際などは全員の共有ラインで報告をし、対応す るようにしています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		その日気になった点などは、運営サポートアプリのケア記録 に記すようにし振り返りをしたり共有するように しています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			月1回個別支援計画に基づき、担当者が実態・支援内容など の訂正や追加などまとめ、話し合いを設けている。また、最低 半年に一回はモニタリングをし計画を作成しています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	7			ガイドラインをしっかり読み込み支援に取り組めるよう 職員に周知していきます	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7			児童発達管理責任者、主任、担当者など個別によりふ さわしい担当者が参加しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			送迎時に学校の先生と話をしたり、電話にて情報共有 を行っています	

				1		
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	3		現在事例はありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		現在事例はありません
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3	4		現在事例はありません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		現在受けていないが、今後活用していけるよう検討し ていきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3		公園に行った際にはご近隣のお子様と遊ぶ機会があります。今後地域のイベントがあった際には参加させていただきたいです
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	3		現在参加をすることはできていません
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7			毎日の連絡ノート・送迎時・電話・ラインでお子様の様子を伝えあい情報共有を行っています。また個別相談がありましたらその都度面談を行っています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6	1		面談の中で助言や提案を行い、ご家庭と情報共有、連 携を図りながら面談を行っています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		玄関横にマニュアル など閲覧できるようにし ていますので、ぜひ ご覧ください	利用契約時にご説明している。運営規定に ついては、 常時、閲覧できるようにしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	7			個別相談がありましたらその都度面談を行い助言や提案を行っています。また職員間で話し合い迅速に対応するようにしています
保護		父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	6		保護者会は実施していませんが保護者様からの要望 がありましたので、今後検討していきます
護者への説	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7			苦情対応の体制の整備を行い、苦情窓口を設置し、ご 契約時にご説明しています。また、苦情や要望があり ましたら職員間で共有し迅速に対応しています
明責任		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7			毎月発行しているおたよりに掲載していくか検討してい きます
等	35	個人情報に十分注意している	7			留意し鍵付きのロッカーに保管する等対応しています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7			お子様の特性に合わせて紙面上に書いて説明を行う などの対応を行っています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	5	2		ハロウィンなどは仮装をして地域 を回ったりし地域に 積極的にかかわろうと努めています
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知している	7			ご契約時にご説明させていただくと共に各マニュアルを 策定し、職員に周知をすると共に事業所玄関に設置 し、いつでも閲覧することができます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	7			年5回あらゆる非常時に備えての避難訓練を実施して います
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止委員会を設置しています。外部で行われている研修に参加、また事業所内で研修を行い、専門性の向上に努めています
時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			現在対象のお子様はおりません。身体拘束のマニュアルの作成をし、ご契約時に必要性を認めるお子様に対して、保護者様に事前説明を行い、了承を得た上で個別支援計画書に記載することとしています。また行った際には記録を残すこととしております
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	7			保護者を招きエピベンの使用方法や症状が出た際の対応の 仕方を職員全員で研修形式で周知しています。おやつはアレ ルギーの物を除去した物を提供しています

|--|